

富山大学薬学部学生後援会 平成21年度総会 報告書

平成21年4月8日(水) 午後1時半～午後3時

富山大学杉谷(医薬系)キャンパス看護棟2階22講義室

次 第：

1. 村中会長挨拶
2. 畑中薬学部長挨拶
3. 議長選出(議長：村中会長)
4. 議事
 - 4- 1. 平成20年度事業報告
 - 4- 2. 平成20年度会計報告・監査報告
 - 4- 3. 新役員選出(鍛冶新会長挨拶)
 - 4- 4. 平成21年度事業予定(案)審議
 - 4- 5. 平成21年度予算(案)審議

5. 閉会

自由討論

学内見学

総会議事録

4- 1. 平成20年度事業報告

(1) 平成20年度(第11回)総会の報告

平成21年4月8日、入学式終了後午後1時30分より平成21年度総会を看護棟2階22講義室において開催いたしました。新会員(新入学生父兄)の他、薬学部教員も多数出席いたしました。村中前会長、畑中薬学部長の挨拶の後、審議に入り、平成20年度の事業報告と決算の承認、ついで21年度の正会員理事31名、教職員理事8名が承認されました。また、同時に新役員も承認されました。鍛冶会長の挨拶の後、事業計画と予算の審議に入り、昨年度の実績のうち薬剤師国家試験特別演習援助はなくなったため、TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は50万円、課外活動援助は70万円とする等の提案が承認されました。特に TOEIC 講習への学生の参加者を増やす方策について、意見交換が行われました。その後、父兄会員から、転学科、試験時期等について質問がありました。総会の終了後、ほぼ全員の希望で研究室見学を行いました。

(2) 平成20年度活動

① 課外教育(国試対策・卒論発表会支援)

学生後援会 課外教育では、薬剤師国家試験対策、TOEIC 対策および卒業論文発表会を主に支援をしております。

国試対策支援：薬学部及び和漢医薬学総合研究所教官6名が薬剤師国家試験の合格率を向上させるために担当し、(薬学ゼミナール講師陣による)国家試験出題分野全教科の対策講習会の開催並びに4回の模擬試験の斡旋を行ない、学生の国家試験勉強のサポートをしております。本プログラムは、今年で4年目となります。昨年度第93回では、新卒の合格率が85%でまずまずの成果を維持できました。本年度は、更なる合格率向上のため、薬学ゼミナールのご好意により各講習会終了後に講習内容に関する復習テストの配布が新たに加われました。講習会全日程終了した後に模擬試験の結果と今後の対策に関してのガイダンスを行ないました。また、自主学習のための部屋の確保を行い、希望者には積極的に利用して頂いております。また、模擬試験の成績不振者には、過去の薬剤師国家試験問題を用いて、自主学習の成果の確認を行なっています。したがって、学生全員が不安なく、受験勉強できる環境を整え、より多くの合格者を輩出できるよう国試対策担当教官一同心がけております。ところで、国家試験対策講習会は、大勢の学生が参加することで可能となっています。しかし、薬学部6年制の導入により、旧カリキュラム(4年制)の学生の大部分が今年で卒業ですので、少なくとも今後2年間講習会は開催できません(模擬試験は行なう予定)。そこで、このことを留年生(旧カリキュラム(4年制))全員にお知らせし、本年度の講習会および模擬試験の参加希望を募り留年生の半数が講習会に参加して頂いております。

TOEIC 講習会・TOEIC 受験支援：学生後援会 課外教育では、平成20年度から創薬科学科学生の就職支援を目的に、TOEIC 学内講習会と TOEIC キャンパステストをスタートさせました。対象は創薬科学科3年次学生とし、受講料および教科書代、TOEIC 受験料(1回分)を後援会費から支出しました。(ただし、教科書代や受験料を自己負担すれば他の薬系学生・大学院生も講習会や学内検定

試験に参加可能としました)。

TOEIC 講習会の講習内容と、参加状況は以下の表のようになりました。

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目	8 回目
	5 月 31 日	6 月 7 日	14 日	21 日	28 日	7 月 5 日	10 月 4 日	11 日
	形式概説	模試体験	聞き取り 1 (重要)	聞き取り 2	速読 1	速読 2	直前対策 1	直前対策 2
創薬 3 年 (42 名*)	20	19	25	22	13	11	14	14
創薬 3 年以外	15	13	16	12	11	9	8	2
計	35	32	41	34	24	20	22	16

*注：帰国子女の学生 1 名がいたため、その学生については、講習会は参加対象外とし、かわりに専門英語学習用の図書を支給することで支援にかえた。

サークル活動の影響（試合やそのための練習等）や英語学習意識の浸透不足などから、参加学生数は 16 名（通常授業の試験と重なった事情による）から 41 名と、参加状況に揺れがでた点に運営上の課題を残しました。しかし、講習会終了時のアンケート調査では、五段階評価のうち、「とても良かった（81.25%）」と「良かった（18.75%）」に回答は集中し、講習内容について非常に高く学生が評価していることが明らかになりました。

TOEIC キャンパステストは TOEIC 講習会終了の翌週に行われました。受験者 22 名の平均点は 459.5 点。うち、講習会を受講せず受けた学生（2 名）の平均点は 307.5 点であったのに対し、講習会受験者（20 名）の平均点は 474.8 点でした（最高点は 650 点）。実際に講習会により一定の点数の上乗せが期待できる点、また逆に、英語学習から離れたままで受験すると力を十分に発揮できない点が、明らかになりました。

一般に、修士卒業後に就職するとしても、大学 3 年次から英語学習は開始しておいた方が良いと言われています。化学・製薬分野での現役社員の TOEIC 受験者のスコアがそれぞれ、471 点、531 点であると報告されていることとあわせて考えると、学部 3 年次から TOEIC 学習に取り組む意義は大きく、また、そこからの学習で就職のために必要なスコアが達成できる可能性も十分にあるように思われます。学生が参加しやすいよう、運営形態を整え、オリエンテーション等で講習会参加の指導を徹底しつつ、今後、ひきつづきこうした支援活動を行うことで、継続的な英語学習の気風を形作ってゆくことが重要であると考えられます。

卒業論文発表会支援：平成 20 年 12 月 24 日に、薬学部年生全員が 1 年間にわたる卒業研究の成果を発表しました。本学体育館に設置された 120×180 cm のボードに各自作成したポスターを掲示し、前半と後半の 2 グループに分かれて、それぞれ 1 時間、多数の来場者と議論します。質問に一生懸命答える 4 年生の姿があらこちらで見受けられ、会場は熱気に溢れておりました。学生後援会では、課外教育支援の一環として、ベストポスター賞 1 件と佳作 4 件に対して賞状と賞品を提供し、また、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供も行いました。

① 課外活動（部活動・サークル活動の資金援助）

各課外活動団体から出された申請書に基づき、薬学部学生の在籍者数や大会の主管など申請内容

にともなう責務の大きさなどによって優先度の重みづけを行い、比例配分額を調整することで活動補助額を決定しました。各団体への補助金額は表1の通りです。

表1. 課外活動に対する学生後援会からの補助金額一覧

団体名	補助金額	団体名	補助金額
軽音楽部	40,000	女子軟式野球部	12,000
楯鞭会	40,000	硬式テニス部	60,000
弓道部	28,000	ハンドボール部	35,000
卓球部	40,000	管弦楽団	50,000
競技スキー部	15,000	養神館合気道部	0
剣道部	20,000	準硬式野球部	40,000
武田流中村派合気道部	20,000	水泳部	12,000
コーラス部	25,000	三曲会	8,000
ソフトテニス部	25,000	陸上競技部	19,000
男子バレーボール部	30,000	ITF テコンドー部	10,000
バドミントン部	42,000	女子バスケット部	8,000
山岳部	8,000	ヨット部	8,000
ギターマンドリンクラブ	35,000	医学薬学祭補助	70,000

③ 奨学資金援助

平成20年度奨学資金貸与は3件でした（但し、同一学生に3回、次表網かけ部分）。学業を継続するための経済的理由によるものです。平成20年度中の返済は1件でした（次表網かけ部分）。これまでの貸与と返還状況は表2の通りです。

表2. 奨学資金援助実績と返還状況

整理番号	年度	貸与金額	返済期日	返済額	未返済額
1	10	50,000	返済完了	50,000	
2	10	180,000	返済完了	180,000	
3	11	50,000	返済完了	50,000	
4	11	50,000	返済完了	50,000	
5	11	160,000	不明		160,000
6	11	210,000	返済完了	210,000	
7	12	80,000	返済完了	80,000	
8	12	60,000	返済完了	60,000	
9	12	130,000	H20.3		130,000

10	12	80,000	返済完了	80,000	
11	13	80,000	返済完了	80,000	
12	15	80,000	返済完了	80,000	
13	16	80,000	H22.3		80,000
14	16	80,000	H20.3		80,000
15	17	80,000	H22.3		80,000
16	18	80,000	H22.3		80,000
17	18	80,000	H24.3		80,000
18	19	80,000	H24.3		80,000
19	20	80,000	H25.3		80,000
20	20	80,000	H25.3		80,000
21	20	80,000	H25.3		80,000
計		1,930,000		920,000	1,010,000

④ 広報

本学薬学部ホームページに学生後援会用の欄が設けられています。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成20年度総会および父兄懇談会の報告を掲載すると共に（総会につきましては資料をPDF形式でダウンロード可能としました）、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

⑤ 保護者と教職員会員との懇談会（保護者懇談会）

大学祭開催期間に合わせ、平成20年11月1日（土）の午後に保護者懇談会を開催しました。約100名の保護者の皆さまにご参加いただき盛会でした。村中会長による「学生後援会の活動の紹介」に続き、畑中学部長の講演「薬学部および大学院修士・博士課程の現状について」、および学生後援会各担当教員から、国家試験対策、TOEIC対策、課外活動援助などの報告、「就職状況について」の報告が順次行われました。その後、参加された保護者の皆さまからの質疑・要望などについて教員の応答があり、2時間を越える実りある懇談会をもつことができました。事前に申し出のありました保護者には成績表をお渡ししました。終了後は希望された約20名を対象に研究室訪問を行いました。

⑥ 入会状況

平成20年度の新規加入者は93名（新入生薬学科50名、新入生創薬科学科39名、2年生2名、4年生2名）でした。未入会の方には、本会の趣旨をお伝えし、ご加入をお願いしております。

4-2. 平成20年度会計報告

以下、本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の収支計算表を順次ご報告申し上げます。

(1) 学生後援会会計（本会計）

平成20年度の事業・予算計画に基づいて下記の通りに予算を執行しました。その詳細を以下にご報告申し上げます。（自 平成20年4月1日 ～ 平成21年3月24日）

表3. 学生後援会会計（本会計）収支計算表

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
正会員会費	2,625,850	2,348,530	△ 277,320	
緊急積立余剰繰り入れ	4,640	0	△ 4,640	
寄付金・学生負担金（国試験模試・講義）	0	2,954,450	2,954,450	
受取利子	7736	9,873	2,137	
本年度収入合計（A）	2,638,226	5,312,853	2,674,627	
繰越収支差額	4,105,550	4,105,550	0	
収入の部合計（B）	6,743,776	9,418,403	2,674,627	

2. 支出の部 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
課外教育援助	1,202,000	4,289,925	3,087,925	学生負担金を除くと決算額は1,335,475円
課外活動援助	700,000	700,000	0	
学生実習援助	100,000	99,760	△ 240	
広報費	200,000	152,647	△ 47,353	
予備費（雑費）	436,226	174,591	△ 261,635	
本年度支出合計（C）	2,638,226	5,416,923	2,778,697	

3. 収支の差額 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
本年度収支差額（A-C）	0	△ 104,070	△ 104,070	
繰越収支差額（B-C）	4,105,550	4,001,480	△ 104,070	
次年度繰越金	4,105,550	4,001,480	△ 104,070	

2) 緊急対策会計

平成20年度の緊急対策会計の収支計算表を、財源の部および積立の部それぞれについて、下記にご報告申し上げます。

表4-1. 緊急対策会計収支計算表（財源の部）

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
教員年会費	204,640	190,000	△ 14,640	
本会計からの補填	0	10,000	10,000	
受取利子	0	0	0	
収入の部合計（A）	204,640	200,000	△ 4,640	

2. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
緊急対策積立	200,000	200,000	0	
本会計へ繰り入れ	4,640	0	△ 4,640	
支出の部合計 (B)	204,640	200,000	△ 4,640	

3. 収支の差額

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
本年度収支差額 (A-B)	0	0	0	

表4-2. 緊急対策会計収支計算表 (積立の部)

1. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
緊急対策積立	200,000	200,000	0	
受取利子	0	3,378	3,378	
本年度収入合計 (A)	200,000	203,378	3,378	
繰越収支差額	2,003,540	2,003,540	0	
収入の部合計 (B)	2,203,540	2,206,918	3,378	

2. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
緊急対策援助金	0	0	0	
本年度支出合計 (C)	0	0	0	

3. 収支の差額

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
本年度収支差額 (A-C)	200,000	203,378	3,378	
繰越収支差額 (B-C)	2,203,540	2,206,918	3,378	
次年度繰越金	2,203,540	2,206,918	3,378	

(3) 奨学資金会計

平成 20 年度の奨学資金会計の収支計算表を下記にご報告申し上げます。

表 5. 平成 20 年度奨学資金会計収支計算表

1. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
返還金	450,000	160,000	△290,000	2名返還
受取利子	3,000	3,914	914	(昨年度末1名を含む)
本年度収入合計(A)	453,000	163,914	△289,086	
前年度繰越収支差額	2,314,111	2,314,111	0	
収入の部合計(B)	2,767,111	2,478,025	△289,086	

2. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
奨学援助金	160,000	240,000	80,000	1名貸与(3回)
雑費(振込料他)	2,000	420	△1,580	
本年度支出合計(C)	162,000	240,420	78,420	

3. 収支の差額

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異	摘要
本年度収支差額(B-C)	2,605,111	2,237,605	△367,506	


(4) 会計監査報告

収支監査報告

平成 21 年 3 月 30 日

上記確かに相違ないことを証します。


富山大学薬学部学生後援会 監事(正会員)

門 嶋 正 美 

平成 21 年 3 月 27 日

上記確かに相違ないことを証します。

富山大学薬学部学生後援会 監事(学内)

名 執 基 樹 

4- 3. 平成20年度役員を選出（敬称略）

正会員理事

会長：鍛冶 利幸 副会長：安養 仁美 監事：福井 裕美 理事：坪田 芳智
理事：中田 利之 理事：野村 春美 理事：藤井 和男 理事：河西 良司
理事：篠田 安弘 理事：羽座 千治 理事：酒井 季美枝 理事：恒田 礼子
理事：野村 由香里 理事：森田 裕樹 理事：石川 弘明 理事：二谷 正巳
理事：本領 鈴子 理事：水越 智之 理事：朝野 浩伸 理事：高木 武一
理事：高広 謙二 理事：竹内 清一 理事：野上 美智己 理事：板東 典子
理事：松川 和弘 理事：松村 恭秀 理事：加治 甚彰 理事：澤川 勝美
理事：徳満 芳則 理事：野田 紀代子 理事：浜田 悦子

学内理事

副会長：畑中 保丸（薬学部長）
庶務：根本 信雄（毒性学研究室）、安東 嗣修（応用薬理学研究室）
課外教育・監事：矢倉 隆之（薬品分子化学研究室）、片桐 達雄（生物学的研究室）
課外活動・奨学資金・広報：林 利光（生薬学研究室）、足立 伊佐雄（薬剤部研究室）
会計：恒枝 宏史（病態制御薬理学研究室）：TOEIC 講習補佐：名執 基樹（独語研究室）

正会員理事および学内理事の紹介の後、新役員が承認されました。

鍛冶新会長より、就任のご挨拶をいただきました。

4- 4. 平成21年度事業計画

緊急対策積立・援助、課外活動援助、奨学資金援助、広報活動、保護者懇談会の開催、総会の開催などにつき、例年通り行う予定である旨が説明され、また課外教育援助については、国試対策は新課程に対応し模試などの支援を行い、2年目となる TOEIC 対策では初年度の結果を受け、大幅な改善を行った上で実施するとの提案があり、了承されました。TOEIC 対策の主な改善点は、(1) 講習会を中央の大手語学学校の講師を招き集中講義形式で行う（時期は学生が参加しやすい7月、12月、3月の日にちで検討）、(2) 講習会への参加を創薬科学科4年次にも広げ再受講を認める、(3) TOEIC キャンパステストは受講日を学生が選べるようにする、および、(4) 創薬科学科以外の学生については5000円程度の講習会参加費を徴収する、などで、学生が参加しやすく、かつ、3年次からの持続的な学習活動を促し、創薬科学科学生を十分に支援する体制をつくるのがねらいであると説明がなされました。また、国試対策の規模が平成21年度では押さえられるため、TOEIC 対策用の支出に関して多少の増減があっても柔軟に対応することが可能であるとの説明がありました。

4- 5. 平成21年度予算

平成21年度の薬学部学生後援会の本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の3予算案は下記の通り、承認されました。

表6. 学生後援会会計（本会計）予算

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
正会員会費	2,625,850	2,348,530	△ 277,320	前年度と同額
緊急積立余剰繰り入れ	4,640	0	△ 4,640	
寄付金	0	0	0	
受取利子	7,736	9,873	2,137	前年度と同額
本年度収入合計 (A)	2,638,226	2,358,403	△ 279,823	
繰越収支差額	4,105,550	4,001,480	△ 104,070	
収入の部合計 (B)	6,743,776	6,359,883	△ 383,893	

2. 支出の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
課外教育援助	1,202,000	500,000	△ 702,000	国試対策講義なし
課外活動援助	700,000	700,000	0	
学生実習援助	100,000	100,000	0	
広報費	200,000	200,000	0	
予備費（雑費）	436,226	350,000	△ 86,226	
本年度支出合計 (C)	2,638,226	1,850,000	△ 788,226	

3. 収支の差額 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
本年度収支差額 (A-C)	0	508,403	508,403	
繰越収支差額 (B-C)	4,105,550	4,509,883	404,333	
次年度繰越金	4,105,550	4,509,883	409,687	

表7-1. 緊急対策会計（財源の部）予算

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
教員年会費	204,640	200,000	△ 4,640	
受取利子	0	0	0	
収入の部合計 (A)	204,640	200,000	△ 4,640	

2. 支出の部 (単位：円)

勘定科目	H19 年度予算額	H20 年度予算額	差異	摘要
緊急対策積立	200,000	200,000	0	
本会計へ繰り入れ	4,640	0	△ 4,640	
支出の部合計 (B)	204,640	200,000	△ 4,640	

3. 収支の差額 (単位：円)

勘定科目	H19 年度予算額	H20 年度予算額	差異	摘要
本年度収支差額 (A-B)	0	0	0	

表7-2. 緊急対策会計（積立の部）予算

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
緊急対策積立	200,000	200,000	0	
受取利子	0	3,378	3,378	20年度の利子と同額
本年度収入合計 (A)	200,000	203,378	3,378	
繰越収支差額	2,003,540	2,206,918	203,378	
収入の部合計 (B)	2,203,540	2,410,296	206,756	

2. 支出の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
緊急対策援助金	0	0	0	
支出の部合計 (C)	0	0	0	

3. 収支の差額 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
本年度収支差額 (A-C)	200,000	203,378	3,378	
繰越収支差額 (B-C)	2,203,540	2,410,296	206,756	
次年度繰越金	2,203,540	2,410,296	206,756	

表8. 奨学資金会計予算

1. 収入の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
返還金	450,000	450,000	0	
受取利子	3000	3500	500	昨年度実績
本年度収入合計 (A)	453,000	453,500	500	
繰越収支差額	2,314,111	2,237,605	△76,506	
収入の部合計 (B)	2,767,111	2,691,105		

2. 支出の部 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
奨学援助金	160,000	160,000	0	2名分相当
雑費（振込料他）	2,000	2,000	0	
本年度支出合計 (C)	162,000	162,000	0	

3. 収支の差額 (単位：円)

勘定科目	H20 年度予算額	H21 年度予算額	差異	摘要
繰越収支差額 (B-C)	2,605,111	2,529,105	△76,006	

自由討論

自由討論では、創薬科学科から薬学科への転学科、創薬学科の学生が薬剤師国家試験受験資格を得られる可能性、国家試験の合格率を上げるための方策などについて活発な質疑応答がなされました。

学内見学

希望する父兄の方々に対し、学内理事が4つ以上の班（各班8名前後）に分かれて講義・実習棟、薬学研究棟、共同利用棟、付属図書館など順次ご案内しました。